

Salesforce.Mule-101.v2026-09-30.q20

試験コード:	Mule-101
試験名称:	Salesforce Certified MuleSoft Integration Foundations
認定資格:	Salesforce
無料問題数:	20
バージョン:	v2026-09-30
アクセス数:	118
ページビュー数:	200
https://www.jpnpdf.com/Salesforce.Mule-101.v2026-09-30.q20-mondaishu.html	

最新問題: 1

統合アーキテクトは、デフォルトでHTTP/1.1経由でXMLとJSONコンテンツの両方のAPIクライアントからのリクエストを受け入れる必要があるAPIを設計している。

- A. 休息
- B. GraphQL
- C. gRPC
- D. 石鹸

Answer: A ([メッセージを残す](#))

REST (Representational State Transfer) RESTは、リソースを複数の形式 (メディアタイプ) で表現できるようにするアーキテクチャスタイルです5555。

汎用性 :SOAP (厳密にはXML)とは異なり、RESTful APIは、AcceptヘッダーまたはContent-Typeヘッダーによって決定されることが多い、同じリソースのJSON表現とXML表現の両方を容易にサポートできます。

なぜ他者の見解は間違っているのか :

SOAP : 厳密にはXMLを使用します。

GraphQL : 通常 クエリとレスポンスの両方にJSONを使用します。

gRPC: デフォルトでは、人間が読みやすいJSON/XMLではなく、プロトコルバッファ (バイナリ)を使用します。

最新問題: 2

Anypoint Platformのどのコンポーネントが、統合開発者が再利用可能なAPI、コネクタ、テンプレートを発見して共有するのに役立ちますか？

- A. エニーポイントスタジオ
- B. エニーポイント・エクスチェンジ
- C. APIマネージャー
- D. デザインセンター

Answer: B ([メッセージを残す](#))

Anypoint Exchange: これは、Anypoint Platform14141414の「マーケットプレイス」または中央リポジトリです。

発見と再利用 :その主な目的は、開発者がアセット (API、コネクタ、テンプレート)を公開し、他の開発者がそれらを見つけて再利用できるようにすることです。これにより、API主導の接続モデル15の効率性が向上します。

なぜ他者の見解は間違っているのか :

Anypoint Studio: アプリケーション構築のためのIDE16。

APIマネージャー : 実行中のAPIを管理および保護するための17。

デザインセンター :API仕様とフローの設計用18。

最新問題: 3

MuleSoftによると、IT組織はITデリバリーのギャップを埋めるために、自社のテクノロジー資産に関してどのような対策を講じるべきでしょうか？

- A. IT部門の全メンバーが参加する週例会議を開催し、既存資産の使用に関する正当性を説明し、承認を求める。
- B. 中央リポジトリを介してアセットを簡単に発見できるようにする
- C. 承認されたプロジェクトとスケジュールに必要な資産作成の需要を満たすために、追加のスタッフを雇用する。
- D. 各事業部門の具体的な要件を満たすカスタム資産にプロジェクト遂行の取り組みを集中させる

Answer: ([解答を表示する](#))

スピードアップの鍵 :より多くの人員を雇用したり、プロジェクトごとにカスタムコード (カスタムアセット)を作成したりしても、納期のギャップを埋めることはできません。再利用を活用する必要があります。

発見しやすさは極めて重要です。開発者がアセットの存在を知らなければ、再利用は不可能です。

Anypoint Exchange : 組織は、アセット (API、コネクタ、フラグメント)を中央リポジトリ (Exchange)に公開し、検索可能にしてドキュメント化することで、「セルフサービス」を実現できます。開発者は必要なものを瞬時に見つけることができ、新しいプロジェクトの提供時間を大幅に短縮できます。

最新問題: 4

MuleSoftによると、システム、データ、デバイスの統合に関して、アプリケーションネットワークの主な特徴は何ですか？

- A. 変化とセルフサービスに対応できるように設計されています
- B. リアルタイムのプロジェクトデリバリーのためにCI/CD自動化を採用しています。
- C. 標準規格に準拠した、よく組織化されたモノリシックなアプローチを採用しています。
- D. HTTPやJSONといった広く受け入れられているインターネット標準を活用しています

Answer: A (メッセージを残す)

アプリケーションネットワーク :MuleSoftは、アプリケーションネットワークを、APIで接続され、プラグイン可能で再利用可能なアプリケーション、データ、およびデバイスのネットワークと定義しています。

変化に対応できる設計：固定的なポイントツーポイント統合とは異なり、アプリケーションネットワークは柔軟性を持つように設計されています。ノード (API)は再利用可能で検出可能であるため、既存の接続を切断することなく、ビジネスニーズの変化に応じてネットワークを進化および変更できます3。

セルフサービス :これらのAPIをExchangeに公開することで、組織全体の開発者がそれらを発見して再利用できるようになり セルフサービス)、ネットワークの「ボトムアップ」的な出現を促進します。

最新問題: 5

MuleSoftによると、サービス指向アーキテクチャ (SOA)とAPI主導の接続アプローチの両方に共通する原則はどれですか？ 11

- A. サービスの状態性
- B. サービスの再利用性
- C. サービスの一元化
- D. サービスの相互依存性

Answer: B (メッセージを残す)

包括的かつ詳細な説明：

共通の目標 :SOA（古いアーキテクチャスタイル）とAPI主導の接続性（MuleSoftの最新のアプローチ）はどちらも、モノリシックなアプリケーションをより小さな部分に分割することで、「スパゲッティコード」の問題を解決することを目指しています。

再利用性：両者の核となる約束は再利用性です。

SOA：再利用可能なWebサービス（多くの場合SOAP）の作成を目的とする。

API主導型：他のチームが発見してセルフサービスで利用できる、再利用可能なアセット（システム、プロセス、エクスペリエンスAPI）の作成に重点を置きます。

違い：目標（再利用は同じだが、SOAは厳格なガバナンスと発見性の欠如により、しばしば失敗に終わっていた。API主導の接続性は、Anypoint Exchangeを介した消費とセルフサービスを重視することで、この問題を改善する。

最新問題: 6

データ機密保持の例を挙げてください。

- A. 個人識別情報 (PII)を含むファイルの暗号化
- B. データベースに挿入する際に、個人の社会保障番号を匿名化しない
- C. ファイルをデジタル署名し、ファイル転送メカニズムを使用して送信する
- D. 双方向SSLハンドシェイク中に、データの安全な復号化のためにサーバーの秘密鍵をクライアントに提供する

Answer: A ([メッセージを残す](#))

機密性 :このセキュリティ概念は、情報が権限のない個人、組織、またはプロセスに提供または開示されないことを保証します。

暗号化 オプション A) : 読み取り可能なデータ (平文を読み取り不可能なデータ (暗号文)) に変換することは、機密性を確保するための主要な技術的制御です。7 個人情報を含むファイルが盗まれた場合でも、暗号化されていれば機密性は維持されます。89.10 他の方法が間違っている理由 :

署名 C) データの完全性 (データが変更されていないことを証明する) を保証するものであり、機密性 (データは依然として読み取り可能である) を保証するものではありません。

デマスキング B) : 保護解除します。

秘密鍵の提供 D) これは重大なセキュリティ侵害であり、保護メカニズムではありません。

最新問題: 7

Mulesoftの顧客が、Muleアプリケーションのデプロイメントにおいて、顧客自身がホストするランタイムよりも、MulesoftがホストするAnypointプラットフォームのランタイムプレーンを好む2つの理由は何ですか？

- A. IT運用作業の負担軽減
- B. アプリケーションの分離性の向上
- C. アプリケーションのスループット向上
- D. 最初のアプリケーションの市場投入までの時間を短縮
- E. アプリケーションの遅延が軽減されました

Answer: ([解答を表示する](#))

MuleSoftホスト型ランタイム (CloudHub) これは、MuleSoftがインフラストラクチャを管理する、サービスとしての統合プラットフォーム (PaaS) モデルです。

IT運用負担の軽減 オプションA) MuleSoftが物理サーバー、オペレーティングシステムのアップデート、パッチ適用を管理するため、顧客のITチームはハードウェアやVMインフラストラクチャの保守を行う必要がありません。

市場投入までの時間短縮 オプションD) : 展開準備整った事前構成済みの環境により、チームはオンプレミスサーバー、ロードバランサー、ネットワーク構成のプロビジョニングを待つことなく、アプリケーションをすぐに展開できます。

最新問題: 8

MuleSoftによると、マイクロサービスアプリケーションアーキテクチャに当てはまるデプロイメント特性はどれですか？

- A. アプリケーションのすべてのサービスは、単一のJava WARファイルとしてまとめてデプロイできます。
- B. コアとなるビジネス機能は、単一の展開可能なアプリケーションにカプセル化されています。

C. サービスは独立したデプロイメントアーティファクトとして存在し、他のサービスとは独立してスケーリングできます。

D. ある能力を強化するための展開には、すべての能力の再展開が必要となる。

Answer: [\(解答を表示する\)](#)

マイクロサービスアーキテクチャ :このアプローチでは、アプリケーションを疎結合サービスの集合として構成します10。

独立したスケーラビリティ :特徴的な点は、各マイクロサービスが独立したデプロイメント単位であることです。あるサービス (例えば 注文処理)に高い負荷がかかった場合、アプリケーション全体をスケールすることなく、そのサービスだけをスケールできます11。

独立したデプロイメント :他のマイクロサービスに影響を与えたり再デプロイしたりすることなく、単一のマイクロサービスを更新および再デプロイできます。

なぜ他者の見解は間違っているのか :

単一のJava WAR / 単一のデプロイ可能なアプリケーション A、B) これらはモノリシックアーキテクチャ12を表しています。

すべての再デプロイ D) これはマイクロサービスではなく、モノリスの大きな欠点です13。

最新問題: 9

システム管理者は、Anypoint Platformユーザーの権限が最後に変更された日時を特定する必要があります。

A. 監査ログ

B. ミュールスタックトレース

C. Anypoint Monitoring

D. Anypoint Studio

Answer: A ([メッセージを残す](#))

監査ログ :Anypoint Platformのこの機能は、プラットフォーム内で実行された操作の検索可能な履歴を提供します。これは、ガバナンスとセキュリティコンプライアンスのために特別に設計されています。

追跡対象: 誰がいつ何をしたか」を記録します。これには以下の変更が含まれます。

ユーザー権限と役割 (アクセス管理)。

環境設定。

APIマネージャーのポリシー。

なぜ他者の見解は間違っているのか :

Anypoint Monitoring : 管理操作ではなく、アプリケーションのパフォーマンス (CPU、メモリ、API分析)に焦点を当てています。

スタックトレース : 実行時アプリケーションエラーのデバッグに使用され、ユーザー権限の監査には使用されません。

最新問題: 10

組織のITチームは、APIプロキシを使用して必要な認証および認可ポリシーを適用することにより、統合ソリューション内のすべての内部APIを保護する必要があります。

- A. 統合プラットフォーム・アズ・ア・サービス (PaaS)
- B. API管理 (APIM)
- C. 電子データ交換 (EDI)
- D. ロボティック・プロセス・オートメーション (RPA)

Answer: B (メッセージを残す)

API 管理 (APIM): このソフトウェア機能のカテゴリは、API のガバナンス、セキュリティ、ライフサイクルに焦点を当てています。7 プロキシの役割: MuleSoft の API Manager (APIM コンポーネント) では、API プロキシを作成します。このプロキシは、バックエンド API 実装の前に配置されます。受信リクエストをインターセプトし、セキュリティ ポリシー (クライアント ID の強制や OAuth 2.0 など) をチェックし、有効なリクエストのみをバックエンドに転送します。

なぜ他者の見解は間違っているのか :

iPaaS :システム間の接続を可能にする統合／構築プラットフォームを指します

が、Anypointのような最新のプラットフォームはiPaaSとAPIMの両方を兼ね備えています。プロキシ経由でセキュリティを確保するという具体的な行為は、APIMの機能です。

EDI : 企業間文書交換 (発注書ど)のための標準規格。

RPA :UI画面上の手作業を自動化する。

最新問題: 11

アプリケーションロードバランサーは、Anypoint Flex Gatewayによって保護された RESTful Web APIにリクエストをルーティングします。

- A. HTTPS
- B. SMTP
- C. LDAP
- D. SFTP

Answer: A (メッセージを残す)

RESTful API: 定義上、RESTはHTTPプロトコル (ハイパーテキスト転送プロトコル)に依存しています。

セキュリティ :APIが「保護されている」場合、ほぼ例外なく TLS/SSL暗号化の使用を意味し、HTTPをHTTPSに変換します。

ロードバランサー :アプリケーションロードバランサー (ALB)はレイヤー7 (アプリケーション層)で動作し、HTTP/HTTPSトラフィックをルーティングするように設計されています。

なぜ他者の見解は間違っているのか :

SMTP :シンプルメール転送プロトコル (電子メール)。

SFTP: セキュアファイル転送プロトコル (ファイル)。

LDAP : 軽量ディレクトリアクセスプロトコル (ID/ユーザー検索)。

これらはいずれも、標準的なREST APIルーティングには使用されません。

最新問題: 12

ある組織のITチームは、API主導の接続アプローチを採用しており、顧客データに安全にアクセスするシステムAPIを実装するためにAnypoint Platformを使用する必要があります。この組織は、すべての顧客データの記録システムとしてSalesforceを使用しており、最も重要な目標は、システムAPIのリリースまでの開発期間を短縮することです。

- A. Anypoint Connector for FTPを使用して、顧客データの最新のほぼリアルタイムの抽出を含むファイルをダウンロードします。
- B. Anypoint Connector for Salesforceを使用してSalesforce APIに接続し、顧客データに直接アクセスします。
- C. Anypoint Connector for HTTPを使用してSalesforce APIに接続し、顧客データに直接アクセスします。
- D. Anypoint Connector for Databaseを使用してMySQLデータベースに接続し、顧客データのコピーにアクセスします。

Answer: B (メッセージを残す)

目的: 主な制約は「開発期間全体を短縮すること」である。

Anypoint Connector for Salesforce: MuleSoftは、Salesforceなどの主要システム向けに、事前に構築され、認証済みのコネクタを提供しています。これらのコネクタは、基盤となるAPI (SOAP/REST)の複雑さを抽象化し、認証 (OAuth)を処理し、Anypoint Studio内で使いやすい操作 (クエリ、作成、更新)を提供します。

比較:

オプションC (HTTP):汎用HTTPコネクタを使用することは可能ですが、リクエストの構築、セッション管理、生のJSON/XMLの解析を手動で行う必要があり、時間がかかります。
オプションB (Salesforceコネクタ):「最迅速なローディングよりも設定を優先する」アプローチです。

最新問題: 13

ある組織は、API主導の接続性とその他の統合手法のどちらかを選択しようとしている。

- A. APIアセットのセルフサービスによる開発者の生産性向上
- B. システムの緊密な連携によるプロジェクトの予測可能性の向上
- C. 中央集権的な開発による成果の再現性の向上
- D. モノリシックアーキテクチャの採用によるセキュリティの向上

Answer: A (メッセージを残す)

価値提案: API 主導の接続の主な目的は、IT デリバリーのギャップを解消することです。これは、API を再利用可能なアセットに変換して Exchange に公開することで実現されます。8 セルフサービス: アセットが発見可能になると、他の開発者 (たとえば、事業部門の開発者) は、中央の IT がすべてをゼロから構築するのを待つことなく、それらを再利用できます。この「セルフサービス」モデルにより、開発者の全体的な生産性が大幅に向上します。

なぜ他者の見解は間違っているのか：

密結合 B) API主導は疎結合を促進します。密結合はシステムを脆弱にし、変更を困難にします (ポイントツーポイント)。

集中型開発 C) ボトルネックを生み出す。API主導型開発は、連携型開発を可能にする。

モノリシック D) API主導型では、モノリスを構成可能なサービス (マイクロサービス/API) に分割します。

最新問題: 14

ある組織は、API主導の接続性とその他の統合手法のどちらかを選択しようとしている。

A. モノリシックアーキテクチャの採用によるセキュリティの向上

B. システムの緊密な連携によるプロジェクトの予測可能性の向上

C. 中央集権的な開発による成果の再現性の向上

D. APIアセットのセルフサービスによる開発者の生産性向上

Answer: D (メッセージを残す)

価値提案: API 主導の接続の主な目的は、IT デリバリーのギャップを解消することです。これは、API を再利用可能なアセットに変換して Exchange に公開することで実現されます。

8 セルフサービス: アセットが発見可能になると、他の開発者 (たとえば、事業部門の開発者) は、中央の IT がすべてをゼロから構築するのを待つことなく、それらを再利用できます。この「セルフサービス」モデルにより、開発者の全体的な生産性が大幅に向上します。

なぜ他者の見解は間違っているのか：

密結合 B) API主導は疎結合を促進します。密結合はシステムを脆弱にし、変更を困難にします (ポイントツーポイント)。

集中型開発 C) ボトルネックを生み出す。API主導型開発は、連携型開発を可能にする。

モノリシック D) API主導型では、モノリスを構成可能なサービス (マイクロサービス/API) に分割します。

最新問題: 15

DevOpsチームは、個々のシステム動作とパフォーマンスについては十分な可視性を確保しているものの、異なるマイクロサービス間での各リクエストのライフサイクル全体を追跡することに苦慮している。このチームは、どのような追加の可視性アプローチを採用すべきだろうか？

A. アナリティクス

B. 指標

C. データマイニング

D. トレース

Answer: D (メッセージを残す)

課題 :マイクロサービスアーキテクチャでは、単一のユーザーリクエストが数十もの異なるサービスを経由する可能性があります。エラーが発生したり、レイテンシが高かったりする場合、1つのサービスのログだけを確認するだけでは不十分です。

分散トレーシング :これは、リクエストがサービス間を移動する際に、そのリクエストを追跡するために使用される特定の技術です。

仕組み :エントリポイントでリクエストに一意のトレースID (相関ID)を割り当てます。このIDはすべてのダウストリームサービスに渡されます。トレースツール (Anypoint MonitoringのTelemetryやJaegerなど)は完全なパスを検証し、リクエストが各ホップでどれだけの時間を費やしたかを正確に表示します。

最新問題: 16

Anypoint Platformは、APIの実装と管理の両方において、どのような生産性上の利点を持っていますか？

- A. APIの自動セマンティックバージョンニング
- B. APIプロキシの自動生成
- C. 自動APIガバナンス
- D. API仕様の自動生成

Answer: ([解答を表示する](#))

APIプロキシの自動生成 :API ManagerでAPIを管理する際、Anypoint PlatformではAPIプロキシアプリケーションを自動的に生成し、CloudHubにデプロイすることができます。

機能 :このプロキシは、バックエンド実装 (またはMule以外のAPI)の前に配置され、レート制限やセキュリティなどのポリシーを、プロキシ用のコードを手動で記述することなく適用します。これにより、カスタムゲートウェイソリューションを構築する場合と比較して、APIのセキュリティ保護と管理プロセスが大幅に高速化されます。

有効な **Mule-101** 問題集は GoShiken.com が提供された合格しやすい Mule-101 試験問題集！ GoShiken.com が最新の **Mule-101** 試験問題集を提供しています。

GoShiken.com Mule-101 試験問題は最新で、解答が正確でございます。最新の GoShiken.com Mule-101 問題集をゲットする人はこちら:

<https://www.goshiken.com/Salesforce/Mule-101-mondaishu.html> (**5730%OFF**問題集溶と正解付きで **30%w**特別割引コード: **Freepdfdumps**)

最新問題: 17

マイクロサービスアーキテクチャにおいて、サービスメッシュによって管理される通信の種類はどれですか？

- A. 取引パートナーサービス間の通信
- B. マイクロサービス開発者間のコミュニケーション
- C. マイクロサービス間の通信
- D. マイクロサービスランタイム管理者間の通信

Answer: ([解答を表示する](#))

サービスメッシュの定義 :サービスメッシュとは、サービス間の通信を処理するための専用のインフラストラクチャ層です。

東西トラフィック :これは、データセンターまたはクラスタ内の異なるマイクロサービス間を流れるネットワークトラフィックである東西トラフィックを管理するために特別に設計されています。

機能 :アプリケーションコード自体を変更することなく、セキュリティのための相互 TLS (mTLS)、再試行、負荷分散、およびこれらのサービス間のトラフィック制御などの処理を行います。

最新問題: 18

デジタル変革イニシアチブの準備として、ある組織は、さまざまな理由で失敗した関連IT統合プロジェクトを検証している。

- A. 事業成果に関する認識のずれ
- B. 有効化に時間をかけすぎる
- C. アジャイル開発手法に従う
- D. 統合プラットフォーム・アズ・ア・サービス (PaaS)への依存

Answer: A (メッセージを残す)

MuleSoft Catalyst :これはMuleSoftのデリバリー手法です。統合プロジェクトが失敗する原因は、技術的な問題ではなく、明確な戦略と連携の欠如にあることを指摘しています。

ビジネス成果: 失敗の主な原因は、IT が組織が必要とするビジネス価値や特定の成果 (KPI) を理解せずにプロジェクトを孤立して構築することです 5。

なぜ他者の見解は間違っているのか :

アジャイル (C) : 一般的推奨/有益です。

イネーブルメント (B) : 成功(4E)の中核となる柱であり、失敗の原因ではない。

最新問題: 19

MuleSoft Catalystの導入アプローチにおける中核となる柱は何ですか？

- A. 範囲縮小
- B. 技術の集中化
- C. ビジネス成果
- D. プロセス思考

Answer: C (メッセージを残す)

MuleSoft Catalystの柱 :Catalystメソッドは、デジタル変革を成功に導くために設計された3つの主要な柱に基づいています。

ビジネス成果 : 明確なKPIを定義し、テクノロジーをビジネス目標に合わせる6。

技術提供 : 実際の導入 (Anypoint Platform)。

組織能力強化 :C4Eの構築とチームの育成。

「ビジネス成果」は、これらのいずれかに該当する唯一の選択肢です。

最新問題: 20

MuleSoftによると、HTTPを使用してRESTful APIを同期的に呼び出し、単一のシステムから個々の顧客レコードを取得することは、どのメッセージ交換パターンの例ですか？ 6(注: PDFでは選択肢が一部省略されていますが、提供されたテキスト A. マルチキャスト」7と標準的なMuleSoft認定コンテキストに基づくと、正しいパターンはリクエスト/レスポンスです)。

A. マルチキャスト

B. リクエスト・レスポンス

C. ファイア・アンド・フォーゲット

D. 承認のみ

Answer: B (メッセージを残す)

包括的かつ詳細な説明：

リクエスト・レスポンス :HTTPプロトコルは本質的に同期型であり、リクエスト・レスポンスのパターンに従います。クライアントはリクエスト (GETコマンド)を送信し、サーバーがクエリを処理してデータ (200 OKレスポンス)を返すのを待ちます。

同期的な性質：質問文中の「同期」というキーワードが最大のヒントです。クライアント側の処理はブロックされているか、処理を進める前にデータの即時返送を待っています。

「マルチキャスト」が不適切な理由 :マルチキャストは一对多のパターン (通常は非同期)です。これは、「1つのメッセージを複数の受信者に送信する (トピック購読など)ものであり、単一のシステムからレコードを取得する」という質問のシナリオと矛盾します。8

Valid Mule-101 Dumps shared by GoShiken.com for Helping Passing Mule-101 Exam!

GoShiken.com now offer the **newest Mule-101 exam dumps**, the GoShiken.com Mule-101 exam **questions have been updated** and **answers have been corrected** get the **newest** GoShiken.com Mule-101 dumps with Test Engine here:

<https://www.goshiken.com/Salesforce/Mule-101-mondaishu.html> (57 Q&As Dumps,

30%OFF Special Discount: Freepdfdumps)